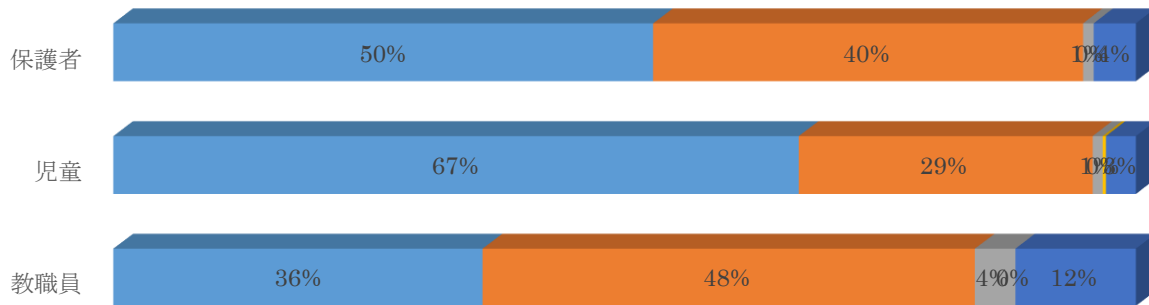


令和2年度学校評価

足立区立本木小学校

①基礎学力の定着のための丁寧な指導

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

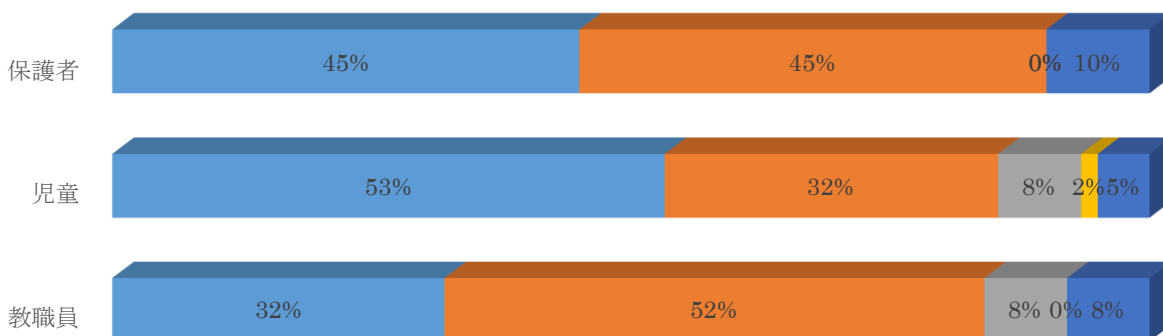
基礎的・基本的な学習が身に付くような授業がされていると肯定的に考えている保護者は90%、児童は96%に対して、教員は84%である。児童は概ね満足しているが、教員は更に基礎学力を身に付けさせたいと考えていると思われる。

【改善策】

授業の基本として、足立区が推奨している「足立スタンダード」の研修をさらに推し進めていく。また、若手教員に関しては、引き続き、教科指導専門員による指導を積み重ねていくことで授業力の向上を図る。さらに、今年度新設した日常的な小テストやまとめの単元テスト、更に学力テストの結果を随時記録分析し、課題を明らかにし、授業改善を行っていく。

②意欲を引き出す授業の工夫

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

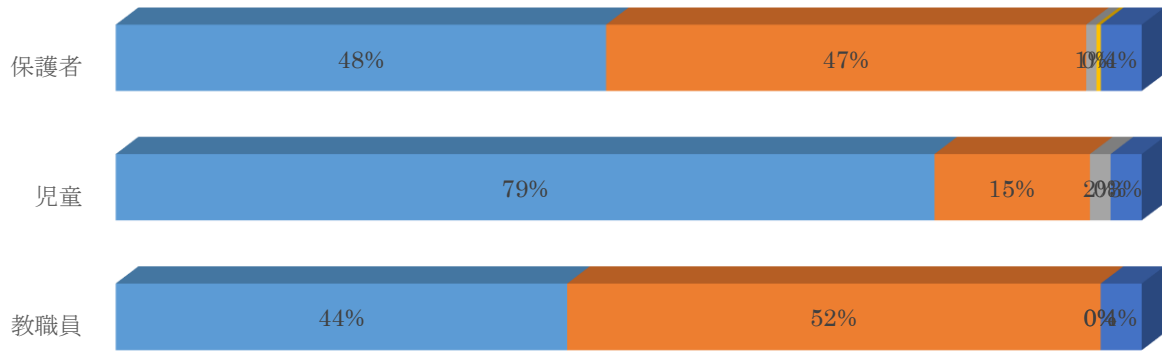
「よくできている」「ほぼよくできている」と回答した児童が85%いるが、10%の児童は満足していない。「よくできている」と回答している教員は32%いるが、改善の余地があると考えている。

【改善方策】

児童の意欲を向上させるために、授業の導入や発問の仕方を工夫したり、教材研究を行ったりして、授業改善を図っていく。また、授業力を向上させる研修も行っていく。

③学習規律や生活規律の徹底

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

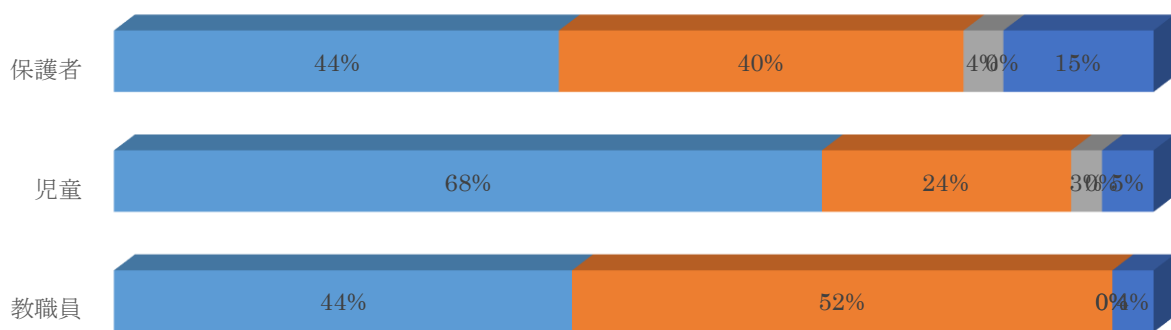
肯定的に捉えた児童が94%と、昨年度（93%）よりわずかだが上昇している。また、「よくできている」と回答した児童は79%（昨年度72%）とこちらも上昇している。児童自身が自分は落ち着いて授業を受けることができていると考えられる。教員も96%が肯定的に捉えており、学習や生活の基本として「本木小の学習・生活の5つの約束」を重視しているためと考えられる。

【改善方策】

次年度も継続して学習規律、生活規律がある学校生活を送ることができるように、「本木小の学習・生活の5つの約束」を各学級で毎日確認し、継続した規律順守の指導を行う。

④個に応じた指導

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

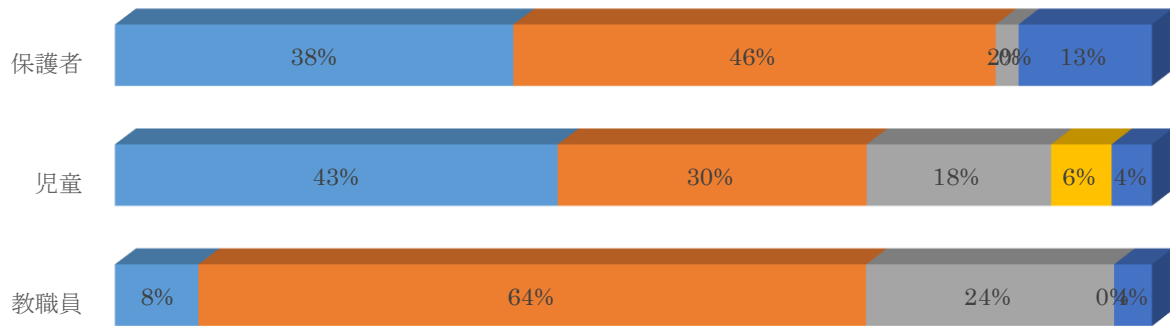
児童は92%が肯定的に捉えているが、保護者の肯定的意見は84%と、10項目の回答項目の中で最も低い。それに対して、教職員の肯定的意見は96%と高い。「個に応じたきめ細やかな指導」について、保護者と教員の中で、捉え方に差があることを示している。

【対応方策】

習熟度別授業を行う算数では、個人の達成状況の把握に努めるとともに、クラスに応じた指導計画を作成し、個に応じた指導を継続的に行っていく。授業や放課後の「自力解決タイム」や「本木タイム」を通して、一人一人の実態に合わせて指導をしていく。

⑤体力の向上

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

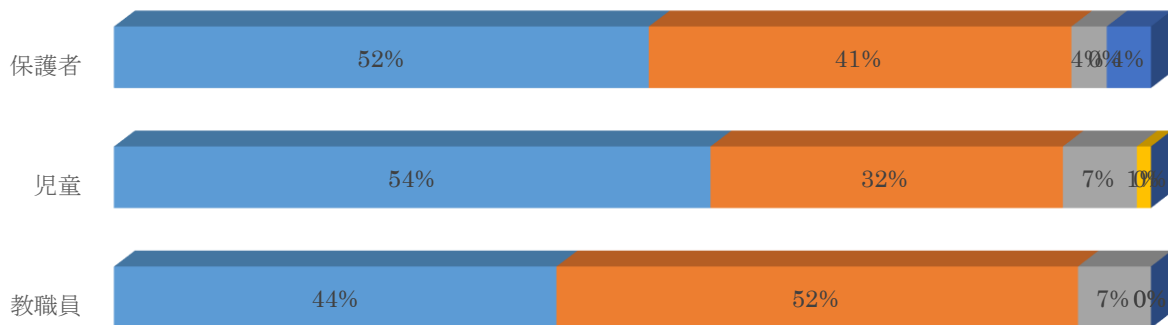
肯定的意見が保護者 84%、児童 73%、教職員 72%と 10 項目の回答項目の中で最も低い。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため運動会や陸上大会、持久走などの行事が中止になったり、体育の学習でも普段行えている学習を行うことができなかつたりしたことによると思われる。

【改善方策】

国・都・区の意向に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を十分に行った上で、体力の向上における教育活動をできる限り充実させていく。本校の課題である体力（柔軟性・持久力・投力）において、継続的に記録を測定したり、ランニングタイム、なわとびタイムなどを行ったりして、日々の児童の体力向上に努めていく。

⑥心を育てる指導

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

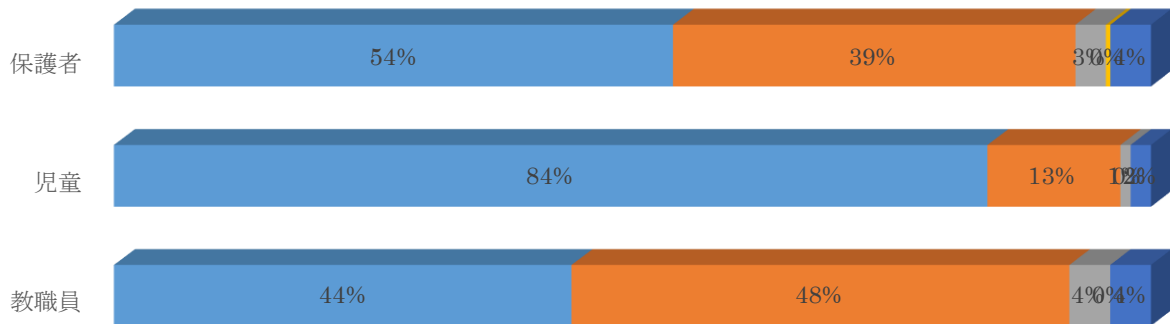
昨年度と比較して、保護者、児童ともに、「よくできている」の数値が上がっている。今年度は様々な行事や体験活動を行うことができなかつたが、日々の学習活動や各学年の学習発表や学校公開（12月までに3回実施）などを行ってきたことで、保護者や児童は、学校が豊かな心情を育むことを努力してきたと評価したと思われる。

【改善方策】

国・都・区の意向に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を十分に行った上で、計画的に体験活動を行っていく。また、「ハイパーQ」を2回実施し、一人一人の児童やクラスの状況を分析することで、児童がより安心安全に過ごせる学級経営を行っていく。

⑦危機管理・安全指導

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

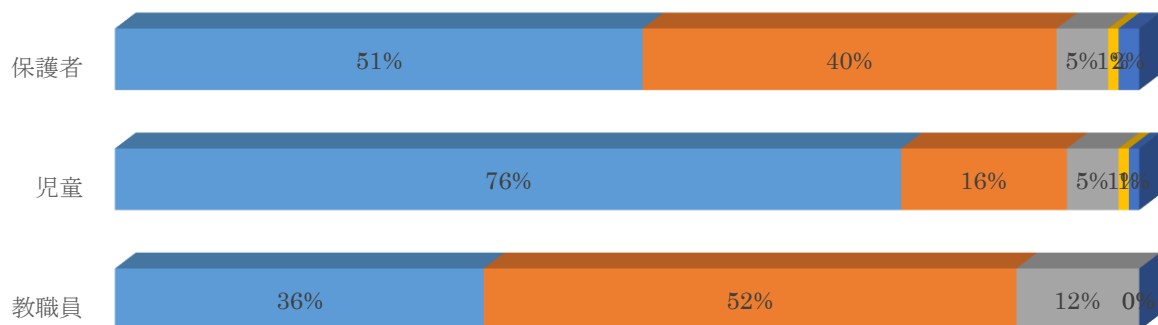
「よくできる」と回答している児童が84%で回答項目の中で一番高い。また、「よくできている」「ほぼできている」と回答している保護者も93%と2番目に高い。新型コロナウイルス感染症の予防対策をはじめ、あらゆる面での本校の危機管理が評価されていると考えられる。

【改善方策】

100%の安全はないが、100%の安全を目指して、今後も校内における危険個所や事故的要因がゼロになるよう改善を重ねていく。また、「危機管理マニュアル」をもとに教職員で災害時に備えた研修を積んでおくことで、児童の確かな安全の保障を図る。避難訓練では、より実践的な場面を想定した訓練を行い、児童にも、自分の身は自分で守れるように安全指導を行う。

⑧情報発信

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

「よくできている」と回答した教職員は、昨年度（26%）より、10%上がっている。今年度、ホームページをリニューアルしたことや、学校生活の様子を昨年度以上に発信するようになったことによると思われる。コロナ禍において、学校公開が実施されても参観が限られていたため、児童の様子を知りたいという保護者の方からの要望にも応えられたと考える。学校便りにおいては、情報を一元化できたことはよかったが、紙面が限られていたため情報過多となり、読みやすさといった面で不十分であった。

【改善方策】

今後もホームページに、児童の様子をできるだけ多く載せていき、本校の教育活動をさらに理解していただく。また、紙媒体においても、改善を重ね、分かりやすい学校便りを作っていく。また、緊急な事態に備えて、引き続き学校配信メール登録100%を確実にいき、保護者に必要な情報を発信できるようにしていく。

⑨保護者・地域との連携

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

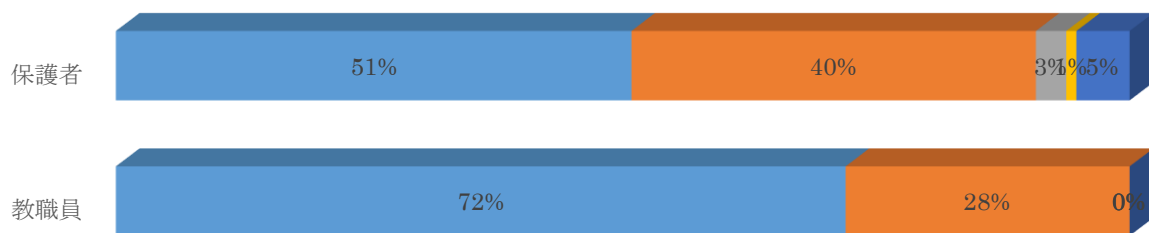
新型コロナウイルス感染拡大防止の取組で、保護者や地域と連携をとった活動を行うことが難しかったが、肯定的にとらえている保護者が昨年よりも5%増えた。コロナ禍ではあったが、地域を教材とした学習や本木ギャラリーにおける児童の作品の展示などが行えたことが評価されたと考える。

【改善方策】

地域を教材とした学習について、次年度もやり方を工夫するなどして、引き続き行っていく。また、地域を教材とした学習における年間指導計画をさらに改善し、コロナ禍であっても保護者、地域、学校が連携して、取り組める方法を探っていく。

⑩保護者・地域の要望に対する改善等

■よくできている ■ほぼできている ■あまりできていない ■できていない ■わからない・無回答



【分析】

昨年度に比べて「よくできている」と捉えている保護者の数値が7%上がった。行事や学校公開のアンケートの保護者の声に耳を傾け、よりよい教育活動をすすめようと努め、さらによくなるように学校づくりをしていく。

【改善方策】

保護者・地域の方からいただいたご意見を全教職員で共有する。また、ご意見を大切にしながら、より本校の教育活動が推進していくよう改善していく。また、学校評価の分析、改善方策を保護者の方々にフィードバックすることで、共通理解を図っていく。

保護者自由意見

●保護者・地域の方からの質問や要望

○学校の回答

●自粛中や夏休みなど、学習プリントを用意してほしい。

○学習プリントについては、学年や期間に応じて作成してきましたが、今後も分量については、そのときの状況を考え、準備していきます。

●コロナ禍での体育館での講演会は実施しない方がよかったのではないか

○近隣の感染状況や都や区で示されている人数を参考に実施を決定しました。今後も学校公開など多くの人々が集まる行事などの実施については慎重に行っていきます。

●学校からのお知らせ（分散登校など）やメールが届くのが遅かったり、内容も分かりづらかったりした。

○国・都・区からの情報を十分に整理し体制を整えた上で児童の受け入れを行うことが混乱なくできました。今後は、できる限り、迅速に連絡を行っていきたいと思います。

●引き渡しカードの廃止の理由や毎日提出している健康カードの運用の実態が知りたい。

○実際場面に合った方法に改善しました。実際に引き渡しとなったとき、引き渡しカードがなければ引き渡せないといったことでは保護者の方も困ります。これまでの引き渡しカードの情報（引き取り者のお名前や電話番号など）は、児童調査表に書いていただいておりますので、学校としてはこれまでの引き渡しカードの情報は把握しておりますので、ご安心ください。健康カードについては、毎日提出させ、児童の体調管理を図っています。

●今年は、学校行事など、中止が多く残念だった。

○感染症拡大防止の観点から、例年のような学校行事が行えませんでした。できるかぎり、子供たちの活動の場を作りたいと考え、学年を分散した学習発表を考えました。今後も感染状況を見ながら、できることを行っています。

●持久走大会や校庭の遊具使用など、実施してほしい。

○持久走大会や校庭の遊具使用においても、今後の感染状況を見ながら、決めていきます。

●学校だよりが読みづらい。学年の内容をもっと入れてほしい。

○学校だよりと学年だよりを一緒にすることのメリットとして、①共通のお知らせについての記載が1つとなり、重複しないため、間違いを防ぐことができる。（昨年度まで、学校だよりで記載された内容と学年で記載された内容に違いがあったために、保護者の方々を迷わせてしまったことがありました。）②自分の学年だけでなく他学年の様子も知ることができる。兄弟関係が多い場合は、1枚で全てが分かる。などがあります。一方デメリットとして、①記載できるスペースに限りがあり、各学年の内容が少なくなる、紙面に対して情報過多で読みづらいなどがあります。今年度は必要に応じて、学年からも随時お手紙を出しました。子供たちの様子をお知らせするものとして、ホームページの「学校生活の様子」をさらに活用し、情報発信を行って参ります。

●パソコンからのホームページが見にくい。（どこにどんなお知らせがあるかわからない。）

○携帯から見る方が多いことを考慮してのリニューアルでしたが、今後も改善を行い、見やすいホームページ作りに努めていきたいと思います。

●コロナ対策の中で、保護者参観が多い。

○コロナ禍で、保護者の皆様が学校での子供たちの様子を参観することを願っていると考え、できる限り学校公開ができる状況では実施しようと、公開してきました。必ず参観しなければいけないものではございませんので、参観できるときに参観していただきますよう、お願いいたします。

●自転車の対応について臨機応変に認めてほしい。

○本校では、学校行事、学校公開、保護者会などの際には、徒歩での来校をお願いしております。

理由としましては、①校門付近のグリーンベルトは、児童が安全に登校するための歩道だということ。②西新井警察署より、校門付近のグリーンベルトは駐車場所として使用することは緊急時の緊急車両の通行の妨げにもなるのご指摘を受けている。③地域の方々から、グリーンベルトの駐車についての改善へのお声が寄せられている。などがあります。また、これまで運動会などの学校行事の際は、自転車整理のお仕事をPTAの方々のご協力してくださっていました。昨年度の運動会では保護者の皆様のご協力のお陰で、係の方々が随分助かったと聞

いています。自転車整理の係がなければ、係の方々の負担も軽減され、その分運動会をゆっくりと見ることができず。早退などでのお子さんを迎えに来るなどにおいては、これまで通り自転車などでお迎えにきていただいております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

●登校班を実施してほしい。

○今年度は、感染症拡大防止のため、足立区全ての小学校で、登校班は行っていません。令和3年度について区より連絡は入っておりませんので、登校班については今のところ未定です。

●校門の施錠の徹底がされているのか。

○門の施錠の開閉については、今後身分の確認の徹底を行っていきます。来客の方々に伝わるように、「インターフォンを鳴らした後にご自身の身分と来校目的を伝えるよう促す案内版」を目立つ所に掲示しました。

●学校前の信号機付近での学童擁護員さんの安全確認が十分ではない。

○学校から学童擁護員さんに改めて安全指導の徹底について、お願いをしました。ご心配をおかけしました。

●屋外等の防犯カメラを目立つところへ置き、犯罪抑制になるようにしてほしい。

○防犯カメラの設置については、区が計画的に行っています。本校では、今年度末までに登下校の道路に新たに防犯カメラを設置する予定です。今後、設置に向けて、話し合いを行います。

●学校と保護者とのコミュニケーション不足を感じる。アンケート等を記入しても意見が反映されていない。

○保護者の皆様からのご意見をいただき、よりよい教育活動に活かしていきたいと考えていますが、いただいたご意見を反映することが難しい場合もあります。一例を申し上げますと、土曜授業を公開するか公開にしないかにおいてもかなり様々なご意見がございます。学校としては、まず子供の安全・安心を第一に考えながらも学習の保障を行っていきたくと考えています。また、実施のつもりで計画を考えたところ、人的・物理的に難しいことがわかり断念せざるを得ないこともあります。今後も、学校で生活する500人近くの子供たちや教職員のこと、また、子供たちを取り巻く保護者・地域の皆様のことを考え、そのときに合った最善の方法を考え、教育活動を行っていきたくと考えております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

●近隣学校では、昼の歯ブラシを数か月前から再開している。本木小でも再開してほしい。

○感染者数が増えてきている中で、学校としては、児童の安全を守るために、できるだけ飛沫感染の恐れがあるものに関しては行わないと考えています。再開は、感染の状況の様子を見て、検討していきたいと思っております。

●昨年度まで行われていたパワーアップタイム・スキルアップタイムがなくなった理由はなぜか。

○パワーアップタイムやスキルアップタイムの代わりに、より個に応じた学習指導を行うための「自力解決タイム」を設定しました。また、本木タイムを水曜日と土曜日に設け、基礎学力定着のために、学年別に指導を行っています。

他にも、本校の教育活動について、ご感想をいただいております。一部ご紹介させていただきます。

★今年はいろいろ制約の多い中で、担任の先生方には工夫して子供たちの学校生活を充実したものにしてください、感謝しています。

★以前に比べて、学校のホームページの更新が多く、様子を見ることができ嬉しいです。

★学校や児童がより良くなるよう取り組んでくださっていることを感じています。

★自力解決タイム・本木タイムで学力がアップしました。ありがとうございます。

★担任の先生は、宿題・自主学習・連絡帳など、しっかりと目を通して、一人一人と向き合っていてくださいます。とても子供思いの先生だと感謝しております。

★ホームページは日々更新され、学校生活の様子がとてもよくわかり大変有難く楽しみです。

★学力の面では全体的に伸びていて、普段とても落ち着いてきている様子がうかがえます。

★給食残菜量が減ってきていて、とても良いことだと感じます。

★実際わからない部分が多いですが、娘が毎日楽しく通っている事や面談の際担任の先生とお話しして娘の性格など良くみているように感じたので、安心して通わせていられ、有難いと思っております。

★コロナ禍、いろいろ考え、対応して下さり感謝しています。お陰で楽しく通うことができます。